

令和 2 年第 1 1 回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和 2 年 1 1 月 1 8 日（水）
 開 会 1 5 時 0 0 分
 閉 会 1 6 時 2 5 分
 場 所 横田庁舎 3 階 大会議室
 出席委員 福田充雄教育委員 荒金勇吉教育委員 谷尻圭子教育委員
 高橋美奈教育委員
 委員会事務局 松田教育長 永瀬教育魅力課長 吉川結婚子育て応援課長
 岸本教育魅力課課長補佐 長谷川教育魅力課課長補佐

松田教育長

2 つの議案、働き方改革プランと学校再編についての協議をお願いする。学校再編に関連し、10 月の終わりに自治会の連合会の会長に自治会会長、PTA 会長、幼稚園の保護者代表の 3 名で会議をしたいと申込み、準備会との名目で会議を行った。少しずつ進めている状況で、後ほど内容を報告することもあると思う。例年、修学旅行は仁多校区、横田校区が人間関係作りを目的にそれぞれ合同で行っていたが、三沢小学校と高尾小学校を除いた他の学校は集まらなかった。2 月初旬に開催していたスーパーホッケー大会は、交流会という形にし、横田中学校へ行く児童は横田中学校の体育館で、仁多中学校へ行く児童は町体育館でそれぞれ交流試合を行う予定にしている。

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 高橋委員

これより議事に入る。

議案第 11 号「奥出雲町就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定について」

事務局

※別添資料について説明

（質疑なしの声）

松田教育長

議案第 11 号について、採決を行う。議案第 11 号を可決することについて、ご異議ないか。

（異議なしの声あり）

異議なしと認める。

本案は、議案のとおり承認された。

	<p>議案第 10 号 「奥出雲町立小中学校教職員の働き方改革プランについて」</p> <p>議案第 12 号 「奥出雲町立小中学校の教育職員の業務量の適切な管理に関する規則制定について」</p>
事務局	※別紙資料により説明
松田教育長	質疑、意見は？
荒金委員	いい環境が出来るようにお願いしたい。プランでは教職員、規則では教育職員と表記されている。この文言の違いは。
事務局	教育職員が法律上の正しい文言で教職員は一般的に使われている文言。プランと規則で文言が統一しない。
荒金委員	教員職員という文言に事務に従事する職員は含まれているか。
事務局	事務に従事する職員と異なり、教育に従事する職員には時間外勤務にみなされない業務が 4 項目あるため、法律上の教育職員に事務に従事する職員は含まれていないが、プランの教職員には事務に従事する職員も含まれている。先の 4 項目以外の業務を減らし、事務に従事する職員も含めて学校全体で時間外が無くなるように取り組んでいく。
福田委員	グループウェアへのログイン・ログアウトで出勤・退勤時間を管理するという話、経験上、教職員は出勤直後から子どもの対応にあたる事が多い。そのため、ログインを行えないのではないかと危惧している。校長会と相談をして朝の職員会でログインをしたか確認するなどの対策を管理職が啓発し、習慣化できるようにして欲しい。
谷尻委員	役場に勤めている職員は出勤後にグループウェアにログインをするという仕組みだが、その仕組みは出勤直後から子どもと関わる保育所や小学校などの現場では無理だと思う。校長先生や教頭先生、事務職員などが代理でログインを行えるなどの体制がないと出勤時間の管理はできないと思う。
事務局	そのような懸念は事務局や各学校の校長先生からあったと聞いている。最終的には出勤、退勤のログイン、ログアウトの習慣化が目標だが、長時間勤務の是正に取り組むにあたり、まず退勤時間を重点的に管理できればいいと思っている。出勤・退勤時間をただ管理するだけならば県からパソコンのスタートアップ、シャットダウンで管理するソフトを提供してもらえる話があるが、本人の勤務時間を管理するという意識付けのため、グループウェアへのログイン・ログアウトで出勤・退勤時間を管理することを提案させてもらっている。

松田教育長	特に中学校の部活指導で勤務時間の漏れがあり、土、日に行う対外試合など基本的に校長先生へ申請をするものは管理できるが、平時の部活指導はグラウンドから直帰するなどの理由で部活前にパソコンをシャットダウンしてしまうことがある。そうすると、その指導の時間は漏れ、そのような時間の是正は働く本人の意識改革に頼らなければならない。校長会へまずは退勤時間の管理をしっかりとるように連絡している。
福田委員	教員の意識改革が一番の問題だと思う。自分自身が教員の頃、時間は何時間もあると思っており、今は反省をしている。時間の大切さを子どもに教育する立場として自分たちも時間を大切に作る意識を持つ必要がある。教育委員会には、校長先生や教頭先生などの管理職を中心にしながら教職員が適正な時間配分を出来るようにして欲しい。同時に教職員のメンタルヘルスのことも考えていく必要があると思う。仕事を抱え込みやすい教職員が相談しやすい環境づくりも合わせて推進して欲しい。
高橋委員	実際、教職員の業務量はここに掲げてある時間に退庁できる程度の業務量か。長時間勤務は良い事だと意識を持ち、あえて長時間勤務をする教職員も中にはいるとも聞いているが、実際はどうか。
福田委員	難しい質問。教職員の仕事ははっきりとした終わりが無いので。
高橋委員	授業準備など教育に関わる部分はスクラップできないので調査や報告など庶務的な部分をスクラップするしかないと思うが、この庶務的な時間を減らしても教職員がここに掲げてある時間に退庁できると思えないが。
福田委員	どうしてもやらなければいけない部分は、部活が終わった後1、2時間伸ばしてやっていた。それは仕方ないと思うが、授業の準備は時間をかければかけるほどいい授業が出来るという思いを持っていたので、家に持ち帰って準備をしていた。今の教職員も同じ思いだと思う。
事務局	授業の計画など個人情報に関係しない部分の自宅への持ち帰りは出来ると思う。授業と同じように扱われているが、部活動はもともと教育課程、法令に明記されておらず、教職員の負担軽減のために国も各地域へ部活指導を委任し始めている。
福田委員	部活動を社会体験、社会経験という振り分けの中でできれば問題ないと思うが、日本の教育システムそのものが教職員に負担がかかるようになってきていると思う。部活動に生きがいを感じている教職員は地域への部活動の委任に不満を感じると思う。
松田教育長	教職員の業務量は個々の熱意に起因する部分があり、線引きが難しい。自発的な学習や部活動の遠征など義務ではない部分を「より良い指導が出来るかもしれない」という熱心な思いを持って行う教職員が長時間勤務をしているのだと思う。私が校長をしていた

	頃、長時間勤務を是正するため学校日誌に月ごとの退庁時間のトータルを記載したり、退庁時間の遅い教職員を公表したりしていた。すると、資料を直す時間を短縮するなど工夫をし、教職員達が早く退庁するようになった。退庁時間を指定すると家に仕事を持ち帰ったり、休日に出勤したりする教職員も出てくると思うが、本人が仕事を整理し、力を注ぐ必要がある部分、ない部分に気づくきっかけになると思う。
高橋委員	意識を変えるきっかけになればいいと思うが、仕事の持ち帰りの原因になりかねないので、退庁時間がプレッシャーになってはいけないと思う。
松田教育長	定時に退庁するきっかけとして定時退庁日を校長会へ提案している。全庁一斉に設けたいと提案したが、各学校の事情で週1で設けることは難しいと聞いているが、定時退庁日と定めた日はPTA会などを設けず定時退庁するよう、教育委員会からアピールすることで教職員の意識を変えるきっかけになればいいと思っている。また、合わせて部活の休業日もアピールしていきたい。
福田委員	定時退庁日の定着は難しいと思うが、呼びかけをしていって欲しい。
高橋委員	学校に人員配置されている学校司書、特別指導員に教職員の業務をしてもらう権限はありませんが、予算を使って配置をしているので教職員の業務を出来る仕組みがあればいいと思います。
谷尻委員	子どものプライバシーなど担任にしかできない業務が割と多いので、学校司書や特別指導員だとできない業務が多いと思う。校長先生や教頭先生に頑張ってもらうしかないと思う。
松田教育長	来年度から若干制度が変わり、学校司書が学びサポーターとして個人へ対応できるようになる。その子の求めている本を渡す、読み方が分からない子へ個別に教えるなど、今より業務が増えるが、給与や時間給を増やすという方向で担当が進めている。特別支援員について、教職員と同じ授業は免許状が必要なため出来ないが、教職員の指示が届きにくい子どもの補佐など教職員の目の届かない、授業以外の負担軽減のため、各学校から人員配置の希望ある。町も精一杯予算をつけているが、十分に人員配置が出来ていない。教職員の負担軽減のため、特別支援員の配置が出来るように努力していく。 それでは、議案第10号並びに議案第12号について採決を行う。議案第10号並びに議案第12号を可決することについて、ご異議はないか。 (異議なしの声あり) 異議なしと認める。
事務局	※後期学校訪問について資料を用いて説明。

松田教育長	例年、授業参観後に県、学校、社会教育委員、地域の方など、多い場所では 20 名あまりの方に参加していただいて意見交換会をしていたが、今年度はコロナの感染予防のため、各会場 10 名程度になるよう調整したいと思っている。そのため、委員同士で相談をしていただき、各会場 1 名ずつ意見交換会に参加していただけるようご協力をお願いしたい。今年度は奥出雲町の目指す子ども像についての取り組みを主な議題として、有意義な会にしたいと思っている。
事務局	令和 3 年度幼児園の入園受付について、たたら学習について説明。
松田教育長	例年だと初日に全学校集まってたたらと刀剣館で村下さんから話を聞いてたが、今年は代表校のみ参加、ケラ出しも例年だと全学校集まっていたが、今年は密を避けるために代表校のみ。
事務局	村下さんの話とケラ出しは、ビデオで撮影して各学校へ配布する予定。
松田教育長	人権を考える町民の集いについて説明。
事務局	例年は表彰式の後に関係者に集ってもらい研修会をしていたが、今年は沢山の人に集まってもらうのは難しいため基本的に表彰式に参加した子ども、保護者を含めての DVD の上映であったり、エピソードを元に考えて意見交換をしたりなど簡単な研修を担当が用意をしている。
松田教育長	生物よもやま話の説明。 放送大学の公開講演会ということで 11/28 の 13 時半からカルチャープラザの二階の農事研修室で予定しており、講師は元島根大学生物自然科学部准教授、大島先生を予定している。情報奥出雲などで周知しているが、事前申し込み制で定員 20 名。田尻委員に申込していただいている。
事務局	再編進捗状況について説明。
松田教育長	今まで伺った地区では、協議会で協議することを容認して貰っている。今後、町議会が発足した段階で昨年の課題になっていた通学方法、児童クラブ、再編統合後の跡地についての考えを提案していくつもり。第二回目以降は、教育委員会以外と連携をとっていくことも必要だと思っている。気持ちとしては、年度内に最低でも一回協議会を行い、来年度には結論を出してもらうというスピードで進めたいと思っている。再編ということで、先ほど校区外就学の話があったが、来年度は鳥上小学校、高尾小学校に新入生が居ないかもしれない。
事務局	現在、校区外就学の届けが出ているのが更新を合わせて 25 件ある。内 6 件が新規で、

	町外から 1 件出ている。
福田委員	中学校も含めた数字か。
事務局	中学校も含めている。中学校は 1 件ある。
松田教育長	<p>三成小学校で校長をしていたので 10 人くらい届けが出るのが当たり前だと思っていたが、鳥上ではあまり届けがあまりなかったもので、先ほどの不満につながったのだと思う。その保護者に町内ではよくあることだと説明をすると納得したが、指定区域ってあってないものだねとおっしゃっていた。再編協議が、また折に触れて報告したいと思っている。</p> <p>次回日程。予定では 12 月 16 日（水）</p> <p>< 次回定例会は 12 月 16 日（水）午後 3 時～（予定） ></p> <p>会 議 録 署 名</p> <p>高橋美奈</p> <p>松田武彦</p>
署名委員	
教育長	